

CTED NewsLetter

Center for Teacher Education and Development, Okayama University

実現への願いを支援する岡山CST養成プログラム

～これからの理科教育を担い、教育現場の今を支える人を育てる～

大学で教職をめざしている学生、教育現場で日々実践している教師、それぞれ立場は違っても、児童生徒が学びたいと思う、また、教師が指導したいと思う「楽しい授業」を実現したいという願いは、学生も現職教員も同じでしょう。

安心して理科の授業ができる指導力を身に付けた小・中学校の教師になりたいと考える学生の皆さんが、これからの理科教育を担う人材として成長できるよう実施しているのが、学生CST養成プログラムです。このプログラムでは、理工系学部と教育学部理科教育専修の小・中学校の教員をめざす学生が、個々の状況に応じて様々な講座を2年～4年半の期間受講でき、その期間に応じたCSTに認定されます。現在、30名を超える学生が参加しています。

楽しい授業ができる
先生になりたい！
安心して授業ができる
指導力を身に付けたい！



養成現場



教育現場

理科のことが分かる
先生がいて欲しい！
理科の授業力のある
先生がいて欲しい！



学生CST養成プログラムの特徴は、自然や科学に対する興味・関心を高める内容、指導に必要な知識や技能の基礎を習得する内容、教育現場の教員研修や科学行事を体験する内容など、理科にかかわる教師としての資質・能力を養うための様々な内容で構成されていることです。特に、指導に必要な知識や技能の基礎を習得する内容では、学校現場で使われている器具や材料で教材研究をしたり、実際の授業を想定して単元や授業の構成の仕方を考えたりするなど、実践的に学ぶことができます。ここでは、理工系学部や教育学部の大学教員、小学校や中学校で指導経験のある大学教員、教育委員会の指導主事等から、指導やアドバイスを受けることができます。



学生を対象とした講座

また、魅力的な授業をしたい、理科の指導に困難を感じている身近な先生方の役に立ちたいと考える現職教員が、先生方の授業を支援したり学校や地域の理科教育を推進したりできるよう実施しているのが、現職CST養成プログラムです。このプログラムでは、地域の教育委員会等から推薦された先生方が、それぞれの立場に応じて必要な講座を2年間受講することで、CSTとして認定されます。毎年、20名程度の現職教員が受講されています。

現職CST養成プログラムの特徴は、教育現場の現状や課題を基に、指導内容や授業構成について理解を深める内容、観察・実験の実施内容や方法の工夫や教材の開発を行う内容、研修会等の企画・運営を体験する内容など、理科の指導力の向上や授業の改善につながる具体的な内容が提供されていることです。



学生と現職教員を対象とした講座

県下で活動するCSTやプログラム受講者は、先生方の日々の授業を支援したり、研修会の講師を務めたりするなど、地域の理科教育推進のために貢献されています。

なお、本学1年生を対象に、学生CST養成プログラム第六期生の募集説明会を、次の日程で開催します。

日時 11月17日(火) 18:00～

会場 一般教育棟 A31

詳しいことは、チラシやHPでお知らせする予定です。

【文責：山崎光洋】

TOPICS

今号の主な記事

【特集】実現への願いを支援する岡山CST要請プログラム～これからの理科教育を担い、教育現場の今を支える人を育てる～

【報告】教師力養成講座第3回 実施

【報告】教師力養成講座第4回 実施

【報告】CST基幹講座 気象台見学&マガコ解剖実験

【報告】全学教職課程履修者の意識調査結果の報告

【報告】岡山県教育委員会との専門部会

【連載】《教員リレーエッセイ》

教職コラボレーション部門 曾田佳代子 教授(特任)

【連載】教員採用試験のツボ その十四「教職相談室を利用しよう！」

【連載】教員採用試験受験記：澤田かがりさん(教育学部)

【案内】教師力養成講座

【案内】教師教育開発センター紀要第6号

【掲示板】「岡大教職ナビ」最新情報ほか

学生向けにさまざまな企画を実施！

今後の企画は教職ナビをチェックしよう

学生
向け

第3回教師力養成講座 「教師を目指すみなさんに 伝えたいこと」



第3回は、新任教師の戸惑いに焦点を当てました。岡山市立福渡小学校長牧平芳明先生に、教諭、行政職員、教頭、校長としての経験をもとに話していただきました。

初任者が学校に赴任してまず戸惑うこととして、「バックヤード」「生活のルール」「リレーション」「授業」という四つのキーワードをあげられました。前の二つについては、たとえ教育活動を支える段取り仕事の多さと速さに驚き、その学校の生活ルールへの無知を感じたとしても、同僚の助けを得ながら対応できるようになります。残る二つは、「日常の人間関係づくり」「毎日の授業づくり」という日々の教育活動の基盤になるものです。大切なことは、言動の中にある「相手の思い」に気づくことです。気づけば、本質をとらえた指導や関わりができます。人には相性もあります。しかし、子どもを始め同僚も保護者も、みんな「力を合わせる人」です。その思いが関係づくりに生きてきます。「わかった」「楽しい」と子どもを感じる授業のためには、指導を常に改善し続けることが大切です。先生は、「やればやるだけ、子どもは応えてくれます」と締めくくられました。

参加者から、「学校で働く実感を持た」「教師のやり甲斐や魅力を改めて感じた」などの感想が多く寄せられました。

【文責：武藤幹夫】

第4回教師力養成講座 「子どもと情報機器への かわり方を考える」 ～地域と連携して取り組む～

今回は、携帯電話などの情報機器に関わる取組に焦点を当ててみました。講師は、赤磐市立高陽中学校長平田俊治先生にお願いしました。

携帯電話やスマートフォン、パソコンは日常生活から切り離せなくなっています。それらから得られるものも多くある反面、行動を拘束される困り感は誰もが少なからず感じています。高陽中学校では、その困り感を学校全体の課題として、生徒が主体となって解決していく取組を進めています。生徒集会を中核に据え、そこに保護者や地域の方も巻き込んで活動しています。「自律を促すよう、ルールは子ども主体で考え、決定事項は遵守する意識をはぐくむこと」をめざしています。教職員として、「個人ではなく集団で組織的に対応すること」「一人でも困っている生徒がいれば、諦めず全力で関わりをもつこと」を大切に、指導を進められています。携帯を学校に持ち込む生徒の数など、生徒の日常行動の中に目に見える形で成果が表れているということです。

先生の「携帯の課題を、使い方の指導に留めず、自分で使い方を判断できる生徒を育てる指導につないでいきたい」という言葉が心に残りました。

【文責：武藤幹夫】



CST基幹講座 気象台見学＆マダコ解剖実習



CST基幹講座として、7月12日に前島でマダコの解剖を、8月3日は岡山地方気象台で気象を学びました。岡大理学部付属牛窓臨海実験所にお世話になり、大阪のスーパーサイエンスハイスクール（SSH）の生徒と実習したマダコの解剖では、苦戦しながらもタコの構造を知る良い機会となりました。実習中の高校生の様子も知ることができました。気象台での講座では、天気予報ができるまでの流れや気象観測機器の原理を学びました。気象予報を行う現業室を見学しましたが、最近、岡大敷地内にアメダス機器が移設されたこともあり、事前にアメダスを調べる宿題をこなしてから参加です。両講座で学んだことを画像も組み合わせ各自で整理し、理科授業で使えるような教材として活用します。CST基幹講座では、科学に関わる様々な施設や企業などから学ぶ機会も設けています。「楽しい理科授業は理科好きな教師から！」。理科室だけで閉じない理科を伝えることのできるCST養成を目指しています。気象台での講座には10名以上の現職CST教員も含めて33名、解剖実習は22名の学生が参加しました。

【文責：稲田佳彦】



この講座を含め、過去6年間の講座のDVDは、教育相談室で見られます。ぜひ、積極的に活用してください。

全学教職課程履修者の意識調査結果の報告

教師教育開発センターでは、全学教職課程を履修する学生の皆さんを対象にした定期的なアンケートを実施しています。ここでは全学教職コアカリキュラムの最初のプログラムである全学教職オリエンテーションで本年度、実施したアンケート結果を一部紹介したいと思います。（*1）

【教員免許の取得理由について】

教員免許を取得しようとする理由は様々かと思いますが、設問のうち、“良くあてはまる”、または“とても良くあてはまる”のどちらかに回答している人数が多い項目トップ3を見ると、“もしかしたら今後「教師になりたい」と思うかもしれないから”が一番多く、“「学校」や「教育」のことに関心があるから”、“教員免許に限らず大学時代に取得できる資格は取っておきたいから”という理由が続きます。これらのことから、今は教師になりたいかどうかは分からないけれども、学校や教育に関心はあり、今後教師になりたいくなる可能性もあるので教員免許も取得したい（取れる資格はたくさん取っておきたい）と考え

（*1）以下に示すデータは次のプログラムである母校訪問に参加する教育学部以外の学生を対象にしたもので、多くは1年生ですが2年生以上もいくらか含んだ結果です。

て教職課程を履修しようとしている可能性が窺えます。

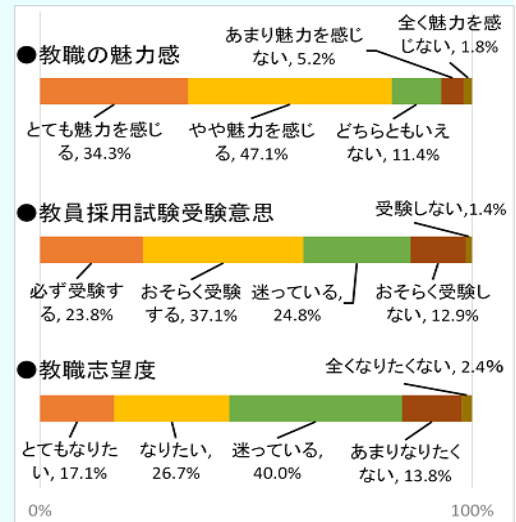
【教職志向性について】

現時点で教職にどの程度魅力を感じているか、教師になりたいと考えているか、教員採用試験を受験しようと考えているか、という3つのことに注目して結果を見ていきます。一つの特徴としては現段階で教職への魅力を感じている学生が8割を超えているということがあります。これは先ほどの教員免許取得理由にもありましたが、この時点で既に教職に魅力を感じている学生が多く集まってきているということの意味します。一方で、教員採用試験受験の意思は6割ほどが示しており、教職志望度に関しては4割を少し上回っています。教育学部の学生とは異なり教員免許取得は必修ではありませんが、その中で教職課程を履修しようとしている学生の多くが教職に魅力を感じており、教師になりたい、教員採用試験を受験しようと考えている学生も一定数いるということが窺えます。

もちろん、教職志向性は今後様々に変容

することが予想されますが、教師になるつもりがなかったり、迷っている学生も、多くは教職に関心を持ち将来教師になりたいかなるかもしれないという思いで教員免許取得を希望している可能性が推察されます。

現時点で教師になりたい人もそうでない人も4年間で自分の進路を自己決定し、卒業時には教師としての質を備えた教員免許取得者になれるようセンターの教職員一同で支えていきます。【文責：三島知剛】



<教員採用試験受験記> 岡山県・鳥取県 小学校教諭 合格

合格

教育学部 学校教育教員養成課程 小学校教育コース

澤田かがりさん

自分は本当に教員に向いているのだろうかかと悩んでいる人も多いのではないのでしょうか。私も勉強をはじめた頃、今の自分のままで良いのかと自問自答する日々が続きました。そんな時大切にしたのは「小さな

目標をもつ」ということです。自分を変えたいという気持ちだけでは前には進めません。模擬授業では教室を見渡すように意識してみよう、面接練習では昨日よりはきはきと話そう等小さな目標をもって練習をしてみてください。そうした一歩一歩を大切にすることで、やがて大きな一歩となります。振り返った時に確実に成長していると

感じることができると思います。また、共に頑張る仲間自分の目標を伝えることも大切です。人に言ったからにはやらなければと良い意味でのプレッシャーになります。切磋琢磨することができます。教員採用試験を通して仲間との絆もより一層深くなりました。仲間と共に今できることをすべてやりきってください。応援しています！

教員採用試験のツボ その十四「教職相談室を利用しよう！」

連載

幼稚園・保育園を除き、本年度の採用試験のほとんどが終了しました。

さて、採用試験では何を見られているのでしょうか。教養や専門的知識はもちろんですが、教員にふさわしい人間性かどうかということについては、面接や討論、小論文、模擬授業などすべてのものを通して重点的に評価されるものと思われます。人間性の中でもとりわけ重い基準で評価される

のが、教育に対する思いや考え、いわば教育観ではないかと思えます。

そうした教育者としての芯の部分は、一朝一夕に高められるものではありません。また、どうやって身に付けていけばよいか対策に苦慮することも多いと思えます。

教職相談室は、そうした悩みに応えられる強い味方だと自負しています。面接の仕方、小論文の書き方などを学ぶお手伝いを

していますが、単にあいさつの仕方や文章の書き方を伝えているのではありません。様々な教育のあり方を話し合ったりDVDで学んだりして教育観を深め、教師像を確かなものにすることができるよう、全力でサポートしています。教職相談室で教育の「心」をつかみ取り、自信をもって教師の道へ進んで行ってほしいと願っています。

【文責：河内智美】

「岡大教職ナビ」では教職課程を履修しているすべての学生に役立つ情報を随時配信しています。ここでは配信した最新記事の一部を掲載しています。さらに詳しい情報や最新の情報はセンターホームページをごらんください。

教員・講師等募集情報

- 学校法人岡辻学園 幼稚園教諭募集
- 学校法人朋和学園 幼稚園教諭募集
- 愛光中学・高等学校 教諭等募集
- 学校法人鎮西敬愛学園 専任教諭募集
- 学校法人久宝文化学院 幼稚園教諭募集
- 大阪電気通信大学高等学校 専任教諭募集
- 創志学園高等学校 教員等募集
- 愛光中学・高等学校 教員等募集
- 神戸星城高等学校 専任教諭募集
- 岡山市教育委員会 高等学校常勤講師募集
- 大塚あけぼの幼稚園 幼稚園教諭募集
- 岡山県作陽高等学校 常勤講師募集
- 樟蔭中学校・高等学校 常勤講師募集
- 京都廣学館高等学校 常勤講師募集
- 学校法人八王山学園 あすなろ幼稚園 幼稚園教諭募集
- 御調みくに幼稚園 幼稚園教諭募集
- 筑波大学附属久里浜特別支援学校 教諭募集
- 学校法人津田学園 教育職員募集
- 大成中学・高等学校 常勤講師等募集
- 学校法人緑丘学園 常勤講師等募集
- 学校法人永島学園 専任教員募集

スクールボランティア募集情報

- 学校支援ボランティア(岡山県立岡山支援学校)
- NPO法人遊育・遊びを育てる会
- 【兵庫県】保育士体験ボランティア
- 児童生徒への放課後等における学習支援ボランティア(岡山県)
- 学生ボランティア(岡山市立妹尾中学校)
- 学習支援ボランティア(就実中学校)
- 学校支援ボランティア(岡山市)

教員リレー・エッセイ「自ら学び、自ら開く」

教職コラボレーション部門 曾田 佳代子 教授(特任)

今年の七夕の季節に、本館の廊下で笹の葉飾りを見つけました。部活動の活躍祈願や、教員採用試験合格の願いが多く書かれた短冊の中で、ひときわ目を惹いたのは「日本で一番若い校長になるぞ!」という一枚でした。ジョーク(失礼!)とは思えないパワフルな言葉に魅入ってしまいました。そういえば数年前、中国の教育視察で出会った校長先生は30代の方でしたが、バリバリと学校経営をやっておられました。近い未来だけでなく、将来のマネジメントまで視野に入れた教員人生を考えているとしたら、頼もしい限りです。

社会構造が変化する今、今回の学習指導要領改訂では、新しい時代に必要となる資質や能力の育成のために、「何を学ぶか」「どのように学ぶか」「何が出来るようになるか」が明確に位置づけられ、新たな教科の新設も検討されています。高校でも「公共」(仮称)や、高度な選択教科「数理研究」(仮称)の新設をはじめ、現状の課題を踏まえた様々な改善が図られようとしています。「どのように学ぶか」は、アクティブ・ラーニングを想定していますが、子どもたちをより深い学びに誘うためには、教師はそれ以上能動的に指導方法の改善等を図る必要があります。同僚との協働的な取り組みも大切です。

私が中学校の校長だった時、同時に二人の新採用教員を迎えた事がありました。4月の始業式新任挨拶の後、一人はすぐに生徒の列の最後尾につき、一人は壁の近くに立っていました。後者の先生は、授業の取り組みや生徒との関係もやや消極的でしたが、同僚の先生の助言を真摯に聞きながら次第に積極的に生徒の中に入り、授業研究も自ら意欲的に行うようになりました。アクティブラーニングです。「自ら学び自ら開く」姿勢があれば、どんなに時代が変わろうとも、自信を持って生徒の前に立つ事が出来ます。専門職になるという気構えを持って、自ら学ぶ姿勢を身につけてほしいと思います。



岡山県教育委員会との専門部会

平成27年7月9日(木)に、岡山県教育委員会との連携協力会議専門部会が開催されました。協議題は、「今日的な教育課題の解決に向けて連携して取り組むことについて」と「教員養成・採用・研修の一体化に向けて連携して取り組むことについて」で、双方前向きな協議、意見交換がなされました。大学から、地域にどのように貢献できるかと考え、よりニーズに応じた内容としていくこと、特別支援教育や小学校での英語の指導力が喫緊の課題であること、教職大学院を拡充し主幹教諭や指導教諭等のミドルリーダーの育成を担いたいこと等について説明を行い、それぞれについて熱心に意見を出し合った後、岡山県の教育の充実のために、今後一層連携していくことを確認して会を閉じました。



【文責：近藤弘行】

平成27年度 第5・6・7回教師力養成講座のご案内

◆第5回

- 日時 平成27年12月16日(水) 13:30~15:40
- 場所 教育学部講義棟 5102講義室

◆第6回

- 日時 平成28年1月13日(水) 13:30~15:40
- 場所 教育学部講義棟 5102講義室

◆第7回

- 日時 平成28年2月10日(水) 13:30~15:40
- 場所 教育学部講義棟 5102講義室

★講座内容等は、決まり次第お知らせします★

センター紀要(第6号)原稿募集のご案内

当センターでは、主に教師教育(教員養成教育、現職教育)及び教育実践をテーマとした実践的・理論的研究論文を、学内の先生方から広く公募します。

- 投稿申込締切：平成27年11月6日(金)
- 投稿申込先：専用オンラインフォームよりお申し込みください。
- 原稿提出締切：平成28年1月7日(木)必着

投稿内容や投稿資格などの詳細はセンターホームページでご確認ください。

<https://cted.okayama-u.ac.jp/bulletin/>